



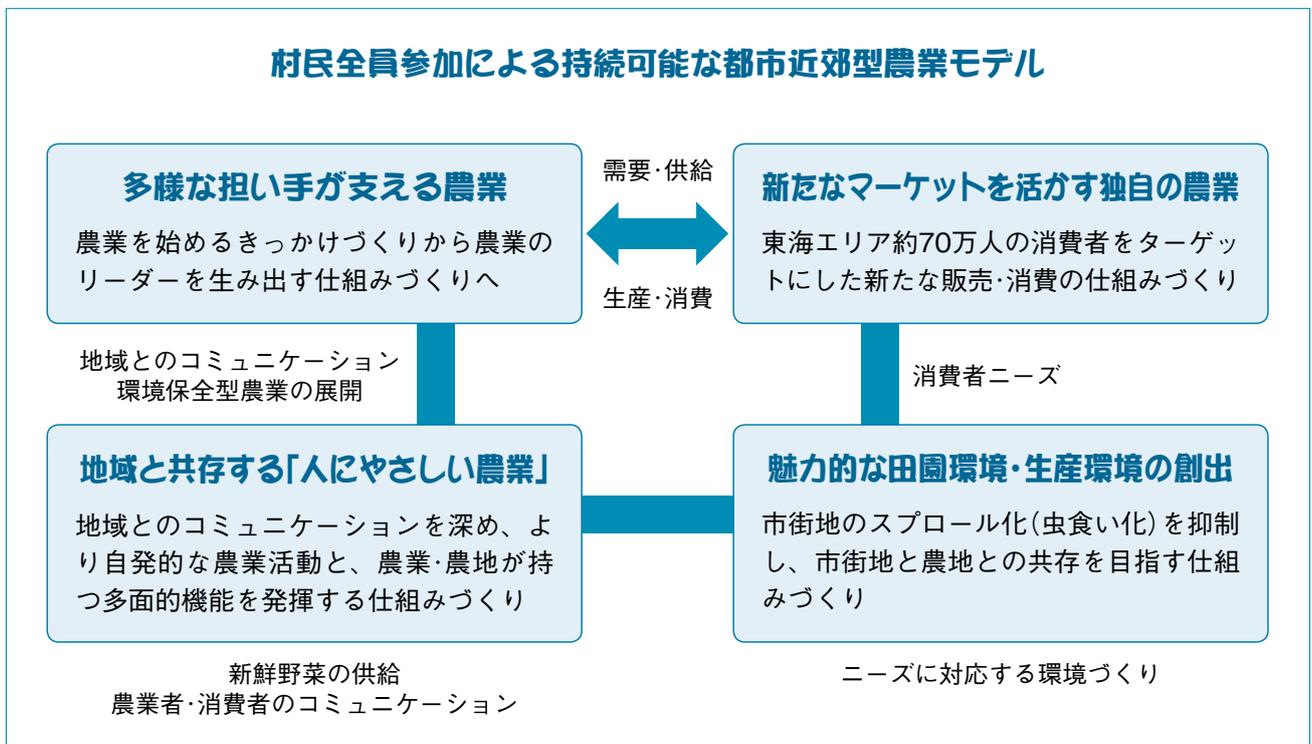
村の農業の将来像を描いた

「東海村農業振興計画」を策定しました！

東海村の農業は、他の地域と同様に農業者の高齢化、担い手不足、収益の低下、混住化に伴う生産環境の変化など、さまざまな問題を抱えていることから、村では、今後10年(計画期間は平成28年度から37年度まで)を目標に、村の農業の将来像を描いた「東海村農業振興計画」を策定しました。この計画は、村の農業をテーマとする基本的な指針を示す計画としては、本村初の取り組みとなります。今回は、この計画の概要をご紹介します。

●東海村の農業が目指すものとは？

東海村の農業が目指す将来像は下図の4つの柱で構成され、農業者のみならず一般住民の参画や協力を意識した内容となっています。4つの柱それぞれの実現が相互作用を及ぼしながら、東海村の農業を発展させていく「村民全員参加による持続可能な都市近郊型農業モデル」を提示します。



●村の新しい農業スタイルを構築するために、今後は…

平成28年度の取り組みとして、まずは新たな担い手の育成・確保を基礎とした総合支援構想「とうかいニューファーマー育成総合支援プロジェクト」を展開し、地域と共存する農業の仕組みを生み出し、農業に参画する村民の裾野を上げていく予定です。

村の新しい農業スタイルを構築するためには、農業者や行政はもちろん、村民全員が農業の持つ重要性について認識を共有しながら、それぞれの役割に応じて適切に行動し、農業を共有の財産として次世代に引き継いでいくことが重要と考えています。皆様のご理解とご協力をお願いします。



●問い合わせ

農業政策課農業振興・農地保全担当 (☎282-1711 内線1221)